

SUNSHINE

第53号 2010年 11月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索 クリック!!



賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します。

福ビル 福永様

今回ご紹介するのは、以前にもこのコーナー(SUNSHINE第23号)で取り上げたことのある荒田2丁目の福ビルです。鹿児島大学の目の前という、好立地な物件ですが、昭和58年築ということもあり、近隣の新築マンションに比べると、お客様のニーズにやや合わないところもありました。

そこで、この秋、内装全面リフォーム!!美しく生まれ変わった福ビルを再度紹介させていただきます。

1号室タイプは、和室の続き間2Kのタイプを洋室9帖、キッチン3帖の1Kタイプに、2号室タイプは和室6帖の1DKタイプを洋室8帖、ダイニングキッチン5帖の1DKタイプにしました。もともと日当たりは抜群に良かったのですが、フローリングにしたことで、一層明るく、おしゃれに仕上がりました(>_<)独立洗面台・ウォシュレットなど入居さんが快適にらせる設備も充実させました。

リフォーム前は4部屋が空室でしたが、リフォーム中から予約が入り、今はすでに満室です!!

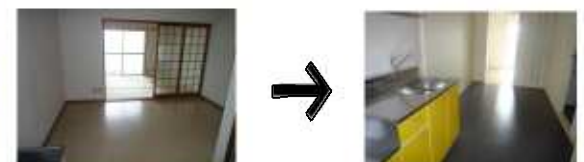
オーナーの福永様は神奈川県に住んでいらっしゃいますので、今回のリフォームは間取り、内装すべて当社でご提案させて頂きました。リフォーム完了後、福永様にも内覧頂いたのですが、内装も気に入って頂き、何より満室になったことで、大変ご満足頂いています。

【リフォーム前】 【リフォーム後】

1号室タイプ



2号室タイプ



今月の一冊 古都

川端康成

1899年、大阪生まれ。東京帝国大学国文学科卒。一高時代の1918年の秋に初めて伊豆へ旅行。以降約10年間にわたり、毎年伊豆湯ノ島に長期滞在する。菊池寛の了解を得て'21年、第六次「新潮」を刊行。新感覚派作家として独自の文学を貫いた。'68年ノーベル文学賞受賞。'72年4月16日、伊豆の仕事部屋で自死。著書に『伊豆の踊子』『雪国』『山の音』『眠れる美女』など多数。

今回この作品を取り上げた理由は、右記によるものです。アカデミック京都ウォッチング参加前にこの作品を読んでいたので、旅行もさらに楽しいものとなり、また帰って来てからもう一度読み返してみると、さらに味わい深く感じました。四季折々の京都の姿が美しい文章で描かれており、まるで川端康成と歩く京都名所案内のようです。しかし一方、所々違和感を覚える表現があり、しっくりこない箇所があります。いろいろな出来事がプロローグで終わっていて、包みを開けたもののの中身を取り出していないかのような印象を受けるのです。それが、巻末、川端康成自身による「あとがき」を読むと、『古都』執筆中から「眠り薬」を濫用しており、「眠り薬に酔って、うつつないありさまで書いた。眠り薬が書かせたようなものであったろうか。『古都』を「私の異常な所産」と言うわけである。」と書かれているのを読んで納得がいきました。『古都』は何度か映像化されています。2005年には、上戸彩・小栗旬主演でドラマスペシャルとして放映されましたが、私達には、山口百恵・三浦友和の1980年の映画の方が馴染み深いですね。



捨子ではあったが京の商家の一人娘として美しく成長した千重子は、祇園祭りの夜、自分に瓜二つの村娘苗子に出逢い、胸が騒いだ。二人はふたごだった。互いにひかれあい、懐かしみあいながらも永すぎた環境の違いから一緒に暮らすことができない…。古都の深い面影、移ろう四季の景物の中に由緒ある史蹟の移ろいづを折り込み、流麗な筆致で描く美しい長編小説。

騎射場探訪 The Premium 創作 Dining 花鳥風月 オーナー 大園秀一様



今回、ご紹介させていただくお店は、弊社で店舗を借りていただき、先月オープンしたばかりの「花鳥風月」さんです☆
 店内はカウンター席、テーブル席、座敷と50席あり、オシャレな店内で女性客も多く来店されていました(^-^)
 料理のメニューは和食からイタリアンなど幅広く、食べたことのないような創作料理もたくさんあり、本格的なピザ、パスタなどどれも絶品で、ホッペが落ちちゃいました(笑)
 「川辺牛のあぶり」などはオーナーである大園様のご実家の川辺牛を使った1品で、他にも川辺のおいしいお米を使った料理など地元の食材をこだわって使っているそうです。
 老若男女問わず、おいしい料理とお酒で楽しめるお店です♪ぜひ皆さんも足を運んでみてください★



飲み放題コース

飲み放題
+
料理8品

3,000円から
ありま〜す☆

弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介!!



カルパッチョサラダ



濃厚!ウニボナーラ



ピザ!世界のピザ

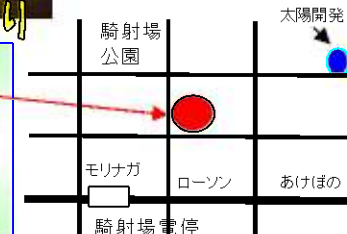


生ハムとピッコロのピザ



川辺牛のあぶり

花鳥風月
鹿児島市荒田2丁目42-11
営業時間
18:00~翌1:30



アカデミック京都ウォッチング



京町家・長江家外観

息子の通う京都の某私立大では、毎年この時季、保護者を対象に『アカデミック京都ウォッチング』と銘打って、秋の京都のお勧め名所を日帰りで行くバスツアーが催されます。ツアー出発前には、キャンパスにて、大学の先生によるミニ講義が行われます。今年は15のコースが準備されていたのですが、その中のいくつかご紹介いたします。

- 1コース: 坂本竜馬の幕末京都を歩く
- 2コース: 京都魔界巡礼~京の冥界を逍遥する・小野篁冥官伝説紀行~
- 5コース: 文学部瀧本先生と散策する~森鷗外『高瀬舟』の世界~
- 9コース: 文学部桃崎先生と歩く室町京都のタイムカプセル“西陣”
- 11コース: 京の仏像探索
- 13コース: 京の味なる出会いと世界文化遺産をめぐる~ミシュラン岡崎つる家~
- 15コース: 京文化「おもてなし」を学ぶ~お座敷舞妓体験~

どうです、テーマを聞いただけでも、胸躍るものばかりでしょ。私は友人二人と共に《6コース: 文学部三枝先生と訪ねる「古都」京都の誕生~京都の近代化について考える》に参加しました。コースは、キャンパスにて三枝先生のミニ講義→京都府立植物園→昼食(やまの・みやび御膳)→南禅寺(方丈庭園)→京町家(秦家・長江家住宅)→鶴屋吉信(お茶と和菓子)→京都駅orキャンパスにて解散
 このコースは川端康成の『古都』の世界と重ね合わせながら組まれています。三枝先生は、いかにも文学少女と言った風情の若い女の先生で、かわいらしいお声で講義、説明をして下さり、私にもわか文学少女になった気分、川端康成の世界に浸ってきました。
 この企画の魅力のひとつは、いわゆる観光名所だけではなく、個人ではなかなか行かないような、それでいて京都らしい場所を案内して下さるところです。今回は、京町家がそうでした。これまで、町家を利用したレストランやカフェには行ったことがありませんが、町家をそのままの形で公開しているお宅に伺ったのは初めてです。秦家には、今から50年程前に川端康成が『古都』を書くにあたって、京言葉の取材に訪れたのだそうです。それを思ってお宅の中を見渡すと、主人公の千重子に会えるような気さえしてきます。『古都』に限らず、京都を舞台にした本を読んで、その世界を巡ってみるというのも、乙なものですね。